

理論訓示 第15回

自立と自律③

3回連続で説明する『自立と自律』。今回でいよいよ最後です。

さて、なぜ自立と自律ができている人は、思考力においても、学力においても、圧倒的に有利なのでしょう？まずは思考力について説明します。

思考力を高める上で大切な事の1つに、何事においても、自分で考える習慣をつける事があります。日常生活においても、勉強においても、スポーツにおいても、遊びの時も・・・できる限り自分で考える事です。なぜでしょう？

これは、とっても単純な事です。

考える回数を増やせば増やすほど思考力は高まります。

全ての時間の中で、自分で考えて行動する時間を増やしてください。

誰かに教えてもらうことよりも、自分で考える時間を増やしてください。

さて・・・自立できない人、自分1人ではできない人は、わからないとすぐに誰かに聞きます。それどころか、自分で考える前にお母さんや先生が考えてくれて、言われた事だけをする人になってしまう場合もあります。

これでは、仮説思考力どころか、考える時間が自立している人に比べて圧倒的に少ないのだから、思考力が高まるわけがありません。

次にもう一つの自律です。

なぜ必要なのでしょう？

思考力を高める為には、仮説思考力に加えて、ねばり強さが必要です。どんな難しい問題でもあきらめないで、『あーでもない、こーでもない』と試行錯誤できるかどうか重要です。もちろん、いくら考えても無理な場合もあります。

それを正しく判断できるようになるには、まずは思考力を高める為の学習方法と、そのルールに従ってやり抜く強い心、あきらめない心、負けない心が必要です。だから自律が必要なのです。

では、学力の場合はどうでしょうか？

思考力が高くないと学力も高まりません。それだけでも自立と自律は重要です。

さらには中学生になるまでに、自分でテキストの解答・解説を正しく活用できるようにならないと、学力を大きく飛躍させることはできません。

正しく活用するという事は、どのタイミングで解答解説を見ればよいかの判断力が必要です。もちろん、ズルして解答を見てしまうことは、絶対にあってはなりません。

それには自立と自律が必要です。

がんばって、自立と自律ができている人になりましょう。